

■ 2014年3月期決算説明会 質疑応答の要約

2014年5月8日に開催した決算説明会において、出席者の皆様からいただいた主なご質問と、当社の回答を以下にまとめております。

質問	回答
Q1 2015年3月期の業績の目安は	あくまでも目安ではあるが、オーガニックな事業の成長の結果として、営業利益で4Qの4倍ぐらいは最低限目指したい。 ただし、いろんな突発的な事象(新規事業への投資やM&Aなど)の生じる可能性があるので、業績予想としては非開示とさせていただいた。
Q2 4Qのスマートフォンメディア事業の売り上げ内訳は	キャリアマーケット向けアプリ45%、アフィリエイトメディア45%、CocoPPa10%程度。
Q3 CocoPPaの広告宣伝投資の予定は	現時点で決まった予定はないが、マネタイズの仕組みが構築でき、投資が回収できると判断したら実施することがある。 DL数は自然に増えているので、単にDL数を増やす目的の投資はおこなわない。
Q4 RTB広告事業のDSP、SSP、トレーディングデスクの粗利率の現状と見通しは	それぞれ、一般的な粗利率である10~30%程度になっているので、今後は粗利率の改善というより、粗利額の増加を目指す。
Q5 DMPへの取り組みはどのように考えているのか	自社でのサービス提供は予定していない。
Q6 スマートフォンメディア事業で、中長期収益化アプリはいつブレークイーブンを超えてくる見込みか	今後も新規事業は全体の収益バランスを見ながら積極的に行っていくため、当面はブレークイーブンを超えたり割り込んだりを繰り返すと考えている。